

U.S. Indicators

発表日: 2019年4月1日(月)

米国 19年3月 ISM 製造業景気指数は上振れ

～米製造業は国内需要に支えられ堅調さ維持～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:03-5221-5001)

ISM製造業景気指数

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
18/07	58.4	60.8	59.1	56.8	53.3	62.1	54.7	73.2	55.3	54.7
18/08	60.8	64.5	62.4	57.8	55.4	63.9	57.5	72.1	55.2	53.9
18/09	59.5	61.5	63.1	58.2	53.3	61.6	55.7	66.9	56.0	54.5
18/10	57.5	58.0	59.3	56.5	50.7	63.2	55.8	71.6	52.2	54.3
18/11	58.8	61.8	59.9	57.7	52.9	61.5	56.4	60.7	52.2	53.6
18/12	54.3	51.3	54.1	56.0	51.2	59.0	50.0	54.9	52.8	52.7
19/01	56.6	58.2	60.5	55.5	52.8	56.2	50.3	49.6	51.8	53.8
19/02	54.2	55.5	54.8	52.3	53.4	54.9	52.3	49.4	52.8	55.3
19/03	55.3	57.4	55.8	57.5	51.8	54.2	50.4	54.3	51.7	51.1

(出所) ISM: the Institute for Supply Management

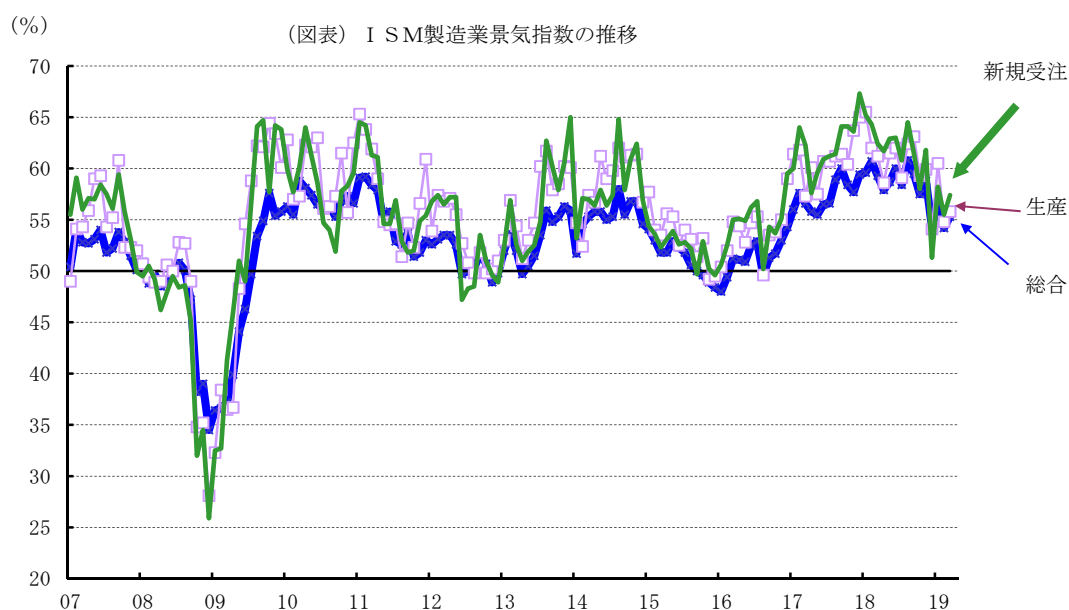
19年3月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、55.3と前月比1.1%ポイント上昇し市場予想の54.5を大幅に上回ったが、筆者予想55.4と概ね一致、結果にサプライズはない。米製造業は、米中貿易戦争の継続、米政府機関の一部閉鎖など政治の混乱、世界経済の減速にもかかわらず、堅調さを維持している。主要国・地域の製造業活動の鈍化を受け米輸出受注DIは51.7まで低下しているが、堅調な国内需要に支えられ米国製造業景気指数が55.3、新規受注が57.4、生産が55.8と高い水準を維持している。

ISM製造業景気指数が製造業の拡大縮小の分岐点である50を依然上回っているうえ、ISMによると55.3という水準はこれまでのGDPとの関係から、実質GDPが3.7%成長していることを示していると指摘しており、米経済は依然過熱感の強い状態にあることが示唆されている。

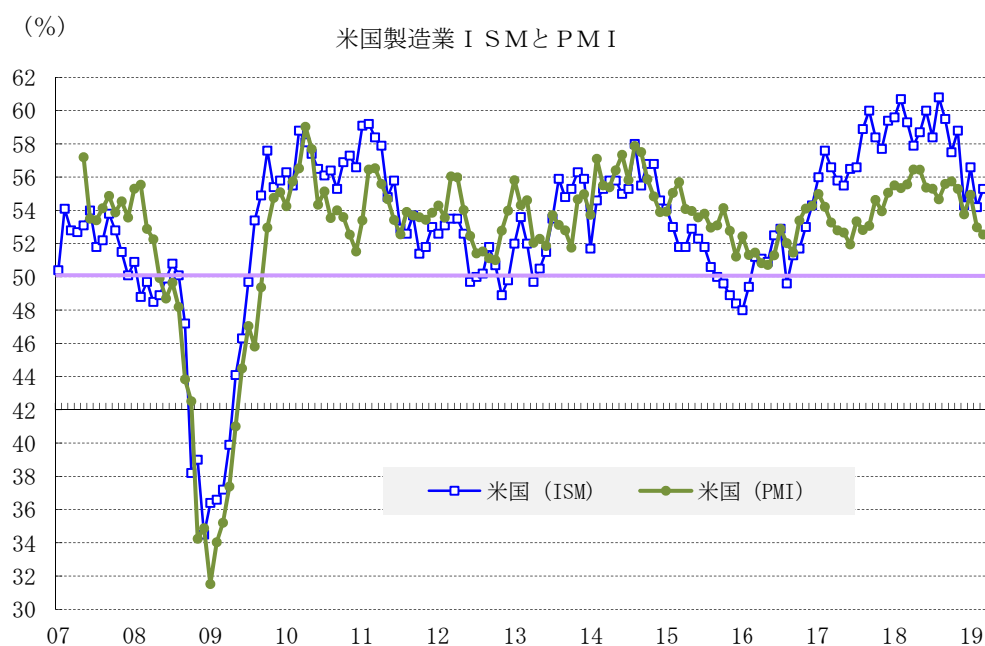
総合指数を構成する項目をみると、新規受注、生産、雇用、在庫、入荷遅延は拡大縮小の分岐点である50を上回っている。重要項目である新規受注、生産が上昇し高い水準となったほか、人手不足、貿易戦争等の影響により、雇用や入荷遅延も高水準で推移している。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、在庫(前月比▲0.32%p)、入荷遅延(前月比▲0.14%p)が押し下げ寄与となった一方、雇用(前月比+1.04%p)、新規受注(前月比+0.38%p)、生産(前月比+0.20%p)が押し上げ寄与となった。

インフレ関連では、エネルギー価格の上昇を受け仕入価格は前月から上昇し、50を上回り、川上での価格下落圧力が弱まった。

総合(全18業種、下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す)で拡大した業種は、印刷・関連サポート活動、繊維、食品・飲料・タバコ、石油・石炭、コンピューター・電子機器、電気設備・部品、家具・同関連、化学製品、プラスチック・ゴム、木材製品、非鉄、輸送機器、その他製造業、加工金属、一次金属、一般機械の16業種と前月から変わらなかった。一方、縮小した業種は、アパレル、紙製品の2業種と前月の1業種から増加した。



(出所) I S Mデータより作成



(出所) ISM、IHS Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

